

ひきこもり当事者の居場所づくり支援等の業務の概要

■ 事業目的

本業務では、ひきこもりの状態にある方へ、メタバースと実会場の居場所支援を提供します。居場所支援では、ひきこもり当事者同士が集うことで、社会とのつながりを持ち、ひきこもり当事者の孤独感の解消につなげる目的があります。

また、当事者のご家族が、家族教室を通して、ひきこもり支援に関する知識やひきこもり状態にある方への接し方を習得することを目的とします。

■ 対象者

- (1) 港区内に住民登録がある在住者で、自宅を中心とした生活をし、他者との交流等の社会参加活動ができていない又は当該社会参加活動への参加を避けている状態が、概ね6か月以上続いている者。
- (2) (1)の家族・親族、同居人等で、家族教室への参加を希望する者。
- (3) その他、港区が支援対象者と認めた者。

本事業の運営について

■ 運営方針

以下の方針に基づき、当事者の居場所(メタバース及び実会場)と家族教室を運営します。

【方針】

社会情勢や生活困窮者自立支援法等を踏まえ、**多様なニーズに応えた居場所**をつくります。

■ 参加者が僅少時の参加者増員に向けた取組み内容及び定員超過時の対応方針

参加者が僅少時の際、ニーズ調査に基づいて**居場所のプログラム内容を細やかに調整・多様化**するとともに、周知活動を強化いたします。

参加者が定員を超える場合、1回の実施時間を二部制や三部制に分けるなどの工夫を行い、**できるだけ多くの方が参加できるように配慮**いたします。

■ 関係機関との連携や協力方法及び円滑なやり取りを行う上での工夫点

「港区ひきこもり支援専用相談窓口」と連携し、相談支援と居場所支援の双方向から対象者へアプローチする連携体制を構築します。

■ 従業員研修について

本事業に従事する予定のすべての者は、ひきこもり当事者及びその家族に対する支援(メタバース及び対面)を専門家として実施することが可能な人材です。彼らの**支援能力の維持向上を目的とした研修**と、変化し続ける**セキュリティリスクに対応するための研修**を実施します。

■ 安全管理について

定期的な研修の実施に加え、情報セキュリティマニュアルを整備しています。個人情報を適切に取り扱い、守秘義務を順守します。また弊社は、**プライバシーマークを取得済み**です。

当事者の居場所支援と家族教室について

■ 実会場の居場所支援

実会場居場所は、**他者と対話や交流する実体験**ができます。弊社はこれまで、多くの居場所支援を実施してきました。それらのノウハウを活かし、多様なメニューを提供します。

事業開始後から準備を進め、**2025年8月から月1回実施**する予定です。

■ メタバースの居場所支援

メタバース居場所は、**自宅にしながら社会参加のきっかけづくりができます**。しばらく家族以外と話をしていない方でも安心して参加できるよう、工夫を凝らします

事業開始後から準備を進め、**2025年8月から月1回実施**する予定です。

■ 家族教室

家族教室では、ご家族が安心して参加できるよう、ファシリテーションに注力します。弊社は、**家族会のファシリテーション経験が豊富**で、その経験を活かします。

事業開始後から準備を進め、**2025年4月から月1回実施する**予定です。

事業者概要

弊社は不登校やひきこもりを支援する学習塾として創業いたしました。その後、自治体からの委託事業(公民連携事業)や、就労移行支援事業を始め、支援の幅を広げてまいりました。

— 弊社のビジョン —

何度でもやり直せる社会をつくる

以下主要3事業を中心に事業を展開

学習支援事業

- ▶ 不登校やひきこもりの方の学び、受験を支援する個別指導塾・家庭教師

公民連携事業

- ▶ 日本全国の自治体と連携して、ひきこもり支援・貧困家庭支援などを展開

就労支援事業

- ▶ ひきこもりや発達障害による離職者が専門的なビジネススキルも学べる就労移行支援

■ 代表取締役について

【 経歴 】

国際基督教大学(ICU)卒業後に、就職、ひきこもり・休職を経験し、様々な事情を抱えた子どもを支援する学習塾(弊社の前身となるNPO法人)を創設。現在に至る。

【 著書 】

弊社代表は多様な支援実績から、ひきこもりや不登校に関する書籍を複数出版